

ナシ「凜夏（りんか）」のトンネルハウス栽培における特性

「凜夏」はトンネルハウス栽培を行うことで、露地栽培と比較して収穫期が 10 日程度早くできるが、露地栽培と比べ小玉となり、糖度はやや低くなり、果形は悪くなる。

農業研究センター果樹研究所落葉果樹研究室（担当者：古田和秀）

研究のねらい

「凜夏」は、西南暖地においても発芽不良の発生が少ないことが報告されており、温暖化の進行に対応できる品種として期待されている。ここでは、トンネルハウス栽培を行った際の「凜夏」の特性を明らかにする。

研究の成果

1. トンネルハウス栽培「凜夏」は、露地栽培に比べ開花盛期は 7 日程度早い。収穫盛期は露地栽培よりも 10 日程度早く、7 月下旬となる(表 1)。
2. トンネルハウス栽培は、1 果重が 450 g 程度となり、露地栽培に比べ小さく、糖度もやや低くなる(表 2)。
3. トンネルハウス栽培は、露地栽培に比べ果形は悪くなる (図 1、表 2)。

成果の活用面・留意点

1. 今回の調査結果は、果樹研究所内のトンネルハウス栽培「凜夏」（高接ぎ 9～10 年生）及び露地栽培「凜夏」（15～16 年生）での、無袋栽培の結果である。
2. トンネルハウスのビニル被覆は 2 月 23 日に実施した。
3. トンネルハウス栽培において、発芽不良は発生しなかった。
4. 着果量を確保のために、人工受粉を徹底する。

【具体的データ】 No. 1132（令和 7 年（2025 年） 6 月）分類コード 02 -10 熊本県農林水産部

表 1 「凜夏」「幸水」の栽培方法別生育比較

品種	栽培型	開花期			収穫期		
		始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
凜夏	トンネルハウス	3/19	3/24	3/28	7/23	7/28	8/3
	露地	3/25	3/31	4/5	8/2	8/7	8/13
幸水	トンネルハウス	3/23	3/27	4/1	7/18	7/24	7/28
	露地	3/30	4/2	4/7	7/22	7/30	8/3

注 1) 露地栽培は平棚仕立(4 本主枝改良H整枝)、施設栽培栽培は平棚仕立(3 本主枝)

注 2) ビニル被覆は 2 月 23 日

注 3) 2023 年、2024 年の平均

表 2 「凜夏」「幸水」の栽培方法別果実品質比較

品種	栽培型	果実横径 (mm)	1 果重 (g)	果肉硬度 (lbs)	糖度 (Brix)	果形 ^{a)}	果皮色 ^{b)}
凜夏	トンネルハウス	96.1	450.6	4.3	12.5	3.4	3.2
	露地	98.7	506.7	4.7	13.0	4.0	2.6
有意性		* ^{c)}	* ^{c)}	* ^{c)}	* ^{c)}	* ^{d)}	* ^{d)}
幸水	トンネルハウス	98.9	493.8	5.3	12.0	4.2	2.6
	露地	97.0	464.3	5.3	12.5	4.1	2.5

注 1) 露地栽培は平棚仕立(4 本主枝改良H整枝)、施設栽培栽培は平棚仕立(3 本主枝)

注 2) ビニル被覆は 2 月 23 日

注 3) 2023 年、2024 年の平均

a) 果形は良 5 ～悪 1 の 5 段階で評価

b) 日本ナシ地色カラーチャート値

c) t 検定により、*1 %水準で有意差あり

d) χ^2 検定により、*1 %水準で有意差あり

露地栽培

トンネルハウス栽培



図 1 「凜夏」の果実